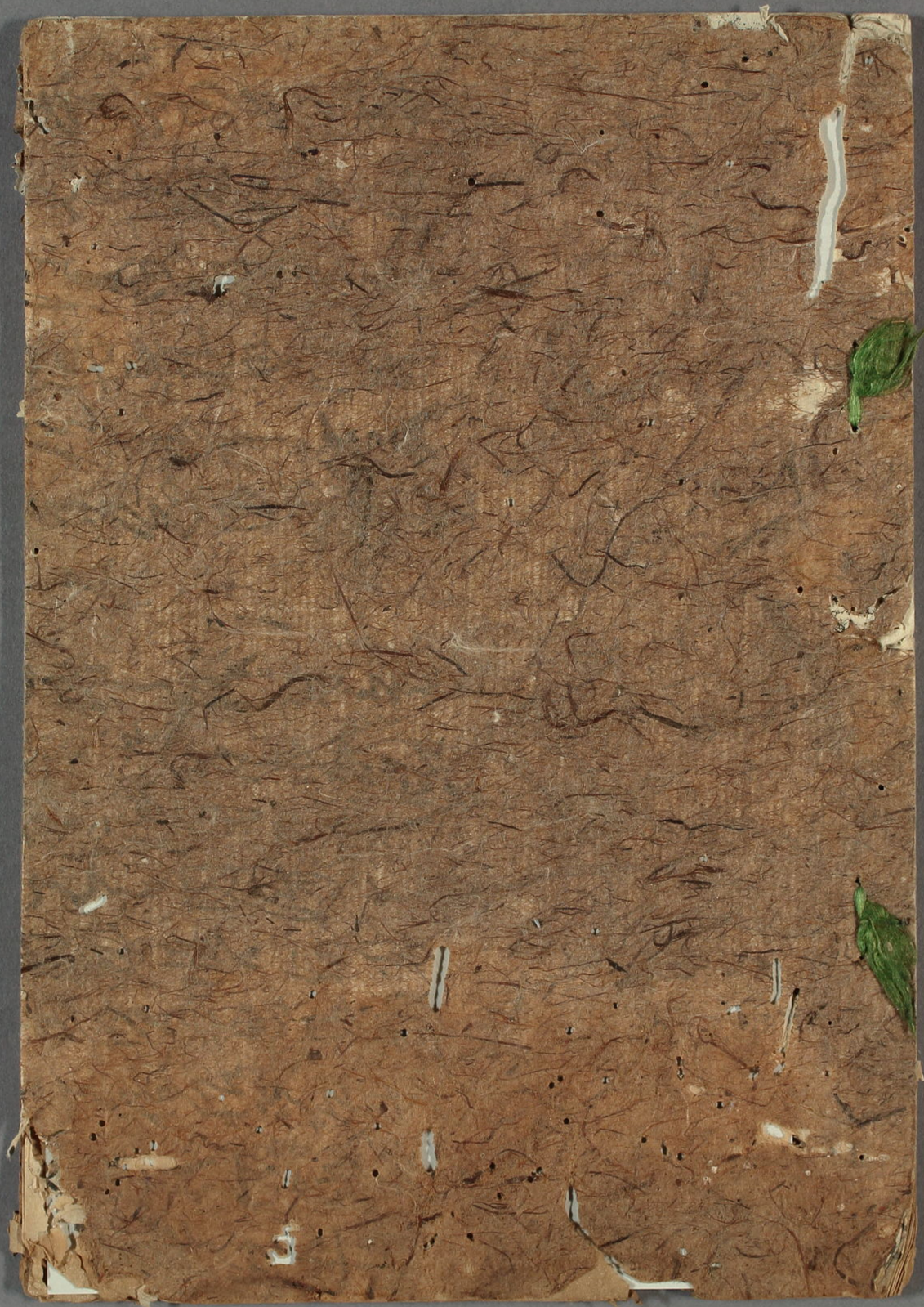

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

伊勢の浦人 [illegible]庵述

四季吟

[illegible]

帰花ふる [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蓋又あるべくもあらず中陰を営む

行脚や海へ出る山の端の月

少年 柴雨

小女 秋の

月秋やいろこの葉庭にあるる

妻 荒曉

下の露こぼれい月さすもの

女 柳葉

葉薬師さす海へ出る夏の月

柳葉

見えぬ袖のあるしるし

世代をの年を重ねる柳

盤白

妹と寝るのにあらず巴声

丁子香源氏ひて少年の雅月

蓮花寺の八幡宮 佛果子 二 丸

月秋や四方の山の雲霧

雲霧 代吉

妹と寝るふるもの源氏

源氏

月の時の早き蓮花寺

姫百

樹々を尾津へ入れる如

小京

人傳に分かれる梅の実

新梅

代々芦苅の中のちらるる

楚山

蓮花や芦苅のちらるる

柔城

[illegible]

[illegible]

[illegible]

清くゝ水を白鳥の嘉哉　洞津　伊勢庵

杉水を　ぬきのよ　枯芦　浪花　八子坊

百姓一きの煙い語ら哉　雪中庵

文元宮　手